

PHILIPS

Healthcare



第29回日本看護管理学会学術集会 スイーツセミナー 4

日時：2025年 8月23日（土）14：35～15：35

会場：第18会場

グランドメルキュール札幌大通公園 20F パールホールAB

看護師のタイムマネジメントを支えるテクノロジー

座長：星子 英子先生

（順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療安全機能管理室 病院機能管理部門）

演者：村岡 修子先生

（NTT東日本関東病院 品質保証室長 / NTT東日本 医療センタ 医療DX推進室担当部長）

<セミナー参加方法>

本セミナーは事前申込制となります。（7月上旬を予定）
学術集会ホームページ「参加登録」よりお申し込みください。
定員に達し次第、受付を終了とさせていただきます。



一般社団法人
日本看護管理学会
The Japan Academy of Nursing Administration and Policies

共催：第29回日本看護管理学会学術集会
株式会社フィリップス・ジャパン

セミナーのご紹介

看護師のタイムマネジメントを支えるテクノロジー

演者：村岡 修子先生（NTT東日本関東病院 品質保証室長 /
NTT東日本 医療センタ 医療DX推進室担当部長）

臨床現場では、看護師が限られた時間の中で多くの業務を効率よく行うことが求められます。しかし、患者ケアや看護記録、他職種との連携、突発的な対応など、看護業務は多岐にわたり、タイムマネジメントは容易ではありません。本セミナーでは、タイムマネジメントに焦点をあて、NTT東日本関東病院に実際に導入している「電子ホワイトボード」「早期警戒システム」「入院患者ベッドコントロールシステム」の3つについて、具体的な運用方法と成果をご紹介します。

1. 電子ホワイトボード

従来、病棟と治療室の間で患者移送や検査準備の連絡を行う際は、電話でやり取りしていましたが、そのため、何度も確認の電話をかける必要があり、情報の伝達ミスや業務の中断が生じていました。そこで、電子ホワイトボードを導入し、病棟と治療室がリアルタイムで患者の状況や検査の進行状況を確認できるようにしました。本システム導入によって、看護師は患者の状態や検査の進行状況を確認しやすくなりました。その結果、例えば、内視鏡検査であれば、受持ち患者はいつ頃に検査に呼ばれるのかを予測しやすくなりました。

2. 早期警戒システム

早期警戒システムは、患者のバイタルサインや観察項目を電子カルテ、心電図モニター、眠りスキャンから自動的に収集しNEWS（National Early Warning Score）を算出します。そして、高リスクになると担当看護師のPHSに自動でアラートが送信されます。本システム導入によって、看護師は多忙な業務の中でも急変リスクの高い患者を早期に発見し対応できるようになりました。

3. 入院患者ベッドコントロールシステム

従来のベッドコントロールは、部署の看護師長が毎朝集合し、話し合いを行っていました。現在は、電子ホワイトボードと連動したベッドコントロールシステムが導入され、患者のベッド配置状態を一目で把握できるようになり、集合することなくベッドコントロールできる環境になりました。また、Microsoft Office365 TeamsやFormsを使用して、患者の移動や予約状況、看護師の勤務状況が共有されます。本システム導入によって、看護師長は、自部署の病床に余裕がある場合は他診療科の患者であっても受け入れしやすくなるとともに、自部署の看護師を他部署へ積極的に応援に出せるようになりました。

これらのテクノロジーを導入することで、看護師の時間外勤務は削減され業務の効率化と働き方改革が進みました。今後は、これらシステムを他部門や他施設へ拡張し、さらに安全で効率的な医療現場づくりを目指しています。